

友好交流ニュースレター

編集・発行／厚木市友好交流委員会 (連絡先 厚木市政策部秘書課友好交流係 046-225-2050)

1/11~13 網走市小学生訪問団

網走市から元気いっぱいの小学生が厚木市を訪問しました。厚木市のことを事前に学んだ小学生たちは小林市長を表敬訪問し、「日産自動車見学やいちご狩りが楽しみです。」と嬉しそうに話していました。また、毛利台小学校を訪問し、同学年の児童とスポーツやポップコーン作りをしたり、給食を食べたりして友好を深めました。同校の児童が披露したリコーダーの演奏に、網走市の小学生はとても感動していました。また、網走市の小学生が準備した「ご当地〇×クイズ」に毛利台小学校の児童が一生懸命考えて答えるなど、友好都市の小学生同士が仲良く過ごし、心温まる交流ができました。今後とも友好都市の絆をいかし、児童に貴重な体験を提供できるよう努めてまいります。



〔日産自動車にて ロボットカーBR23Gと一緒に〕



〔上:ホストファミリーと一緒に 下:苺狩り〕

gunpo 1/4~9 軍浦市青少年交流訪問団

韓国軍浦市から高校生7人が厚木市を訪問し、ホームステイを体験しました。今回訪問したのは、昨年7月に本市の高校生7人が軍浦市を訪れた際、ホームステイを受け入れてくれた学生たちで、両市の高校生は再会を喜び、七沢自然ふれあいセンターでの活動等を通して交流を深めました。ホストファミリーの皆さんにも温かく迎えられ家族のように過ごし、別れ際にはみんな涙が止まりませんでした。本市では、今後も未来の国際交流を担う青少年同士の交流に力を入れてまいりたいと思います。

12/2~5 オーストラリア ニューカッスル大学学生ホームステイ

オーストラリア国立ニューカッスル大学の学生15人が厚木市を訪問しました。同校は湘北短期大学の姉妹校として毎年、交換留学プログラムを行っています。一行は市内一般家庭でのホームステイを通して日本の家庭を体験したほか、日本人学生との交流や高校訪問を行いました。また、十二単、もちつきなどの日本文化に触れ、とても喜んでいました。今回の体験と思い出を糧に、将来、国際社会に貢献する人材として活躍してくれることを願っています。



〔小林市長表敬訪問〕

11/5~6 あつぎ国際大道芸2011 友好都市PRコーナー



[友好都市PRコーナー]

「あつぎ国際大道芸2011」開催に併せ、まち元気物産フェア会場にて、友好都市PRコーナーを出展しました。国内外友好都市のパンフレットや友好交流ニュースレターの展示や韓国茶の試飲などを通して、より多くの方々に本市の友好都市について知っていただくことができました。

友好交流ニュースレターの展示や韓国茶の試飲などを通して、より多くの方々に本市の友好都市について知っていただくことができました。

2/15~17 横手市雪まつり訪問団

横手市の冬の恒例行事「横手雪まつり」に、公募による市民の方々を含む訪問団12人と初めてあゆコロちゃんに参加しました。雪まつりの会場には、大きなかまくらが並び、中では火鉢を囲んで地元の皆さんと観光客が一緒になって団欒^{だんらん}を楽しみます。訪問団一行もかまくらを1基構え、厚木産のいちごや銘菓を振舞って厚木市をPRしました。翌日は横手の伝統行事、「ぼんでんコンクール」を見学し、厚木市長賞を授与したほか、横手城や武家屋敷を訪れ、風情ある横手のまちを味わい、温かいもてなしを受けて友好を深めることができました。



[横手城前にて あゆコロちゃんと一緒に]

あばしりオホーツク 2/9~11 流氷まつり訪問団

網走市を代表するイベント「あばしりオホーツク流氷まつり」に、市職員2人と初めてあゆコロちゃんに参加しました。開会式の会場では、網走市の方々や観光客の方々に厚木市のパンフレットや銘菓を配って厚木市をPRしました。流氷まつりは、氷雪像やオホーツク海の流氷をはじめ、見どころがいっぱいです。今年度は市民団の派遣を予定しており、市民の皆様にも網走市の魅力を知っていただく良い機会となるよう願っています。



[左:開会式ステージにて 右:流氷観光砕氷船おーろら号]

4/26~30 平井教育長揚州市訪問

教育分野での更なる交流を深めるため、「教育週間」に併せて、平井教育長ほかが揚州市を訪問しました。一行は揚州職業大学を訪れ、平井教育長による講演や学生との交流を行いました。また、訪問期間中は、揚州鑑真国際ハーフマラソン大会に参加している選手に熱い声援を送っていました。

今後とも様々な機会、両市の絆を一層深めてまいります。



[平井教育長の講演に熱心に聞き入る学生たち]